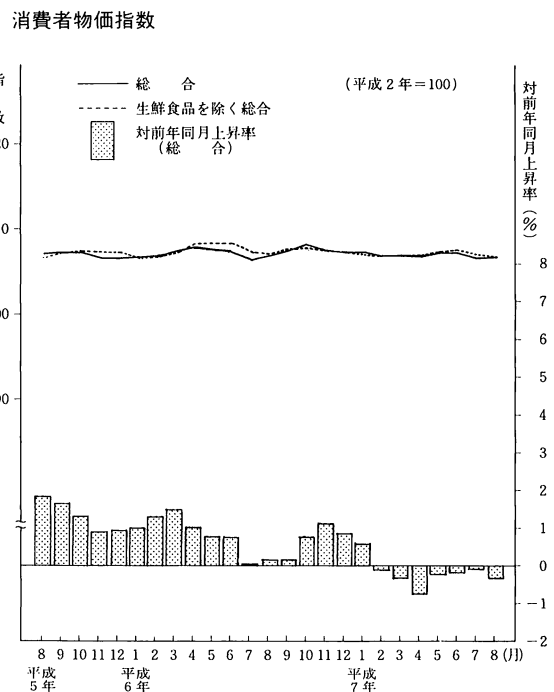
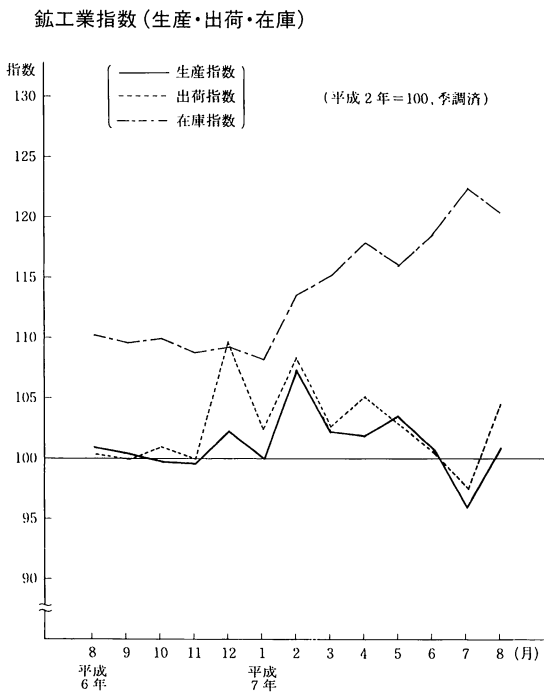
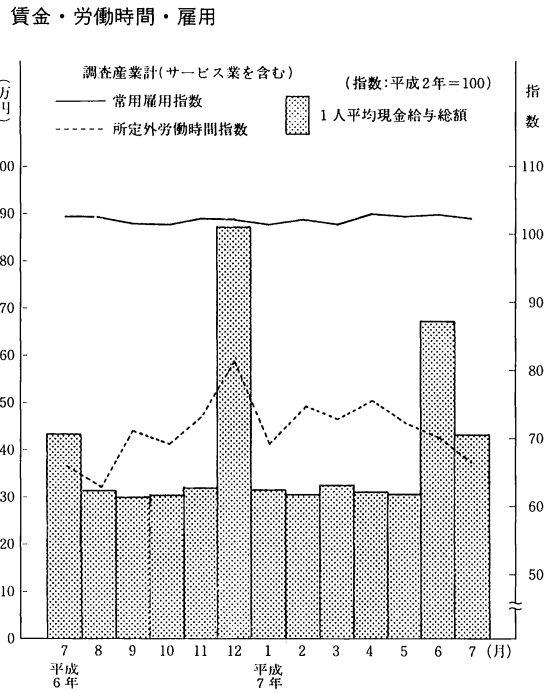
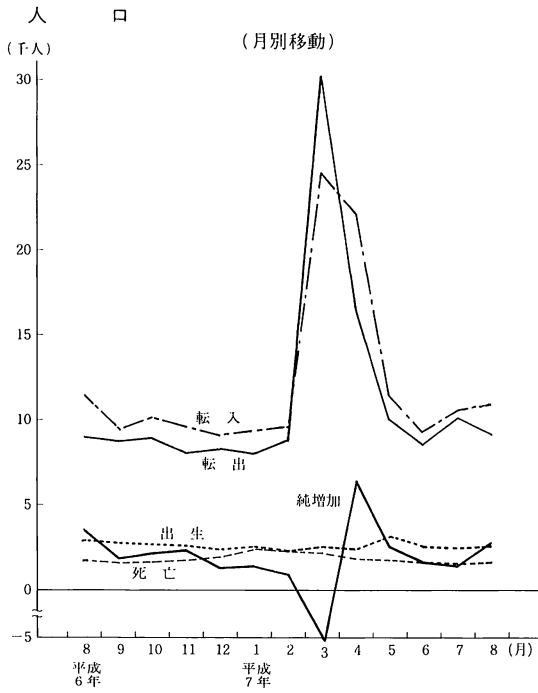


● 今月の主な動き

# 今月の主な動き



主な動きのあらまし ..... 企画部統計課

■人口(9月1日)

本県の人口は、8月中に2,781人増加し、9月1日現在で、2,965,869人(男1,482,927人、女1,482,942人)となった。

内訳は、自然動態で883人(出生2,529人、死亡1,646人)増加し、社会動態で1,898人(転入11,004人、転出9,106人)増加した。前年同月と比べると18,564人(0.6%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が16市65町村、減少が3市21町村である。

世帯数についても8月中に、1,384世帯増加し928,874世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(7月)

1. 平均賃金の推移

7月の現金給与総額は、調査産業計で432,664円、対前年同月比1.1%減、このうち、きまって支給する給与は306,883円、対前年同月比1.9%増であった。また、このうち、所定内給与は281,005円、対前年同月比1.9%増であり、超過労働給与は25,878円、対前年同月比1.7%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比0.1%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

7月の総実労働時間は、調査産業計で164.5時間、対前年同月比0.9%減であった。このうち、所定内労働時間は151.7時間、対前年同月比0.9%減、所定外労働時間は、12.8時間、対前年同月比0.8%減であった。

3. 雇用の動き

7月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.9%減であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(8月)

本県における平成7年8月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が100.5、出荷が104.3、在庫が120.5で、前月比は、生産が3.9%の上昇、出荷が6.4%の上昇、在庫が1.5%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が0.7%の低下、出荷が4.0%の上昇、在庫が9.3%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、精密機械工業、一般機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、輸送機械工業、繊維工業、窯業・土石製品工業等が低下した。出荷で

は、精密機械工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業が低下した。在庫では、電気機械工業、精密機械工業、一般機械工業等が上昇し、金属製品工業、石油・石炭製品工業、窯業・土石製品工業等が低下した。

財別にみると、生産では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、建設財、耐久消費財が低下した。出荷では、全てが上昇した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、建設財、鉱工業用生産財が低下した。

■消費者物価指数(8月)

平成7年8月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で106.8(平成2年=100)となり、前月比0.3%の上昇、前年同月比0.4%の下落となった。

今月の上がった主な項目……果物32.4%、野菜・海草3.0%、魚介類2.7%

今月の下がった主な項目……シャツ・下着5.3%、衣料3.7%、保健医療用品・器具1.8%、身の回り用品1.8%

生鮮食品を除く総合は106.8となり、前月比0.3%の下落、前年同月比0.7%の下落であった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	106.8	0.3	△0.4	保健医療	102.7	△0.7	△0.3
食 料	106.3	1.9	△0.6	交通通信	99.2	0.0	△0.2
住 居	116.4	0.0	1.0	教 育	116.8	0.0	2.5
光熱・水道	102.3	0.0	△0.4	教養娯楽	108.7	0.6	△1.5
家具・家事用品	96.0	△0.7	△4.0	諸 雑 費	104.8	△0.5	0.5
被服及び履物	105.8	△3.4	△1.7	生鮮食品を除く総合	106.8	△0.3	△0.7